

原市場聖書教会

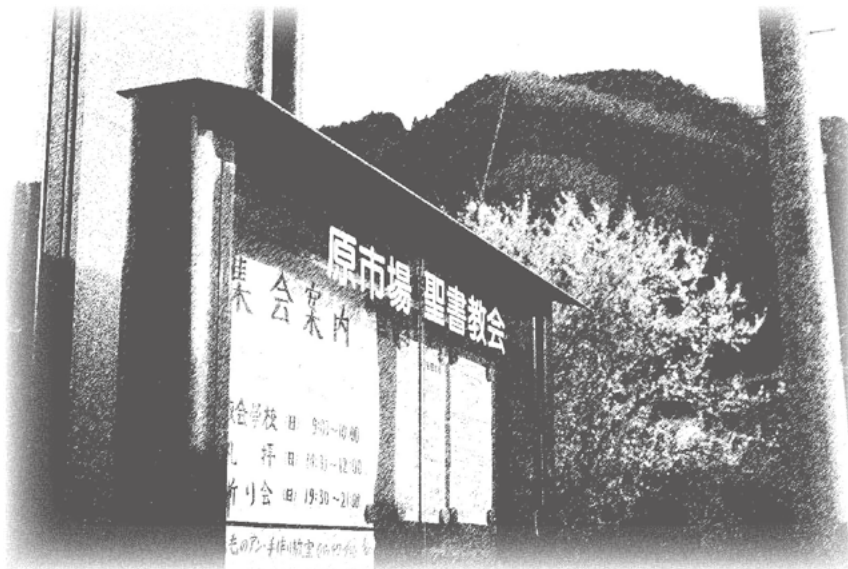
NO. 791

週 報

年間聖句

**だからこそ、あなたがたはあらゆる熱意を傾けて、
信仰には徳を、徳には知識を、
知識には自制を、自制には忍耐を、忍耐には敬虔を、
敬虔には兄弟愛を、兄弟愛には愛を加えなさい。**

第二ペテロ1章5～7節



2020. 5. 31

主日礼拝

2020年 5月 31日

礼拝奉仕者

説教：若村和仁師 司会：本多崇兄 奏楽：本多こずえ姉 受付：若村めぐみ姉
 パワーポイント：本多悟兄 感謝の祈り：司会者

賛	美	「あなたがすべて」	—	同
祈	り		司	会
今月の賛美		「父の神の真実」	—	同
使徒信条			—	同
主の祈り			—	同
賛	美	聖歌501番「主よみちびきの手を」	—	同
献	金		—	同
感謝の祈り			司	会
賛	美	聖歌520番「ただ主を」	—	同
聖書朗読		ローマ8章26節～39節	司	会
説	教	「神が私たちの味方」	若	村
黙	禱		—	同
賛	美	聖歌508番「うきよのかぜと」	—	同
頌	栄	聖歌383番「ちち・みこ・みたまの」	—	同
祝	禱		若	村
後	奏		奏	楽
報	告		司	会

●礼拝後の昼食会は
 コロナ終息までお休みとします。



「神が私たちの味方」

聖書 新改訳 2017 2017 新日本聖書刊行会より抜粋

メッセージ聖書箇所

□一マ8章26節～39節

26, 同じように御霊も、弱い私たちを助けてくださいます。私たちは、何をどう祈ったらよいか分からないのですが、御霊ご自身が、ことばにならないうめきをもって、とりなしてくださるのです。

27, 人間の心を探る方は、御霊の思いが何であるかを知っておられます。なぜなら、御霊は神のみこころにしたがって、聖徒たちのためにとりなして下さるからです。

28, 神を愛する人たち、すなわち、神のご計画にしたがって召された人たちのためには、すべてのことがともに働いて益となることを、私たちは知っています。

29, 神は、あらかじめ知っている人たちを、御子のかたちと同じ姿にあらかじめ定められたのです。それは、多くの兄弟たちの中で御子が長子となるためです。

30, 神は、あらかじめ定めた人たちをさらに召し、召した人たちをさらに義と認め、義と認めた人たちにはさらに栄光をお与えになりました。

31, では、これらのことについて、どのように言えるでしょうか。神が私たちの味方であるなら、だれが私たちに敵対できるでしょう。

32, 私たちすべてのために、ご自分の御子さえも惜しむことなく死に渡された神が、どうして、御子とともにすべてのものを、私たちに恵んでくださらないことがあるのでしょうか。

33, だれが、神に選ばれた者たちを訴えるのですか。神が義と認めてくださるのです。

34, だれが、私たちを罪ありとするのですか。死んでくださった方、いや、よみがえられた方であるキリスト・イエスが、神の右の座に着き、しかも私たちのために、とりなしていてくださるのです。

35, だれが、私たちをキリストの愛から引き離すのですか。苦難ですか、苦悩ですか、迫害ですか、飢えですか、裸ですか、危険ですか、剣ですか。

36, こう書かれています。「あなたのために、私たちは休みなく殺され、屠られる羊と見なされています。」

37, しかし、これらすべてにおいても、私たちを愛してくださった方によって、私たちが圧倒的な勝利者です。

38, 私はこう確信しています。死も、いのちも、御使いたちも、支配者たちも、今あるものも、後に来るものも、力あるものも、

39, 高いところにあるものも、深いところにあるものも、そのほかのどんな被造物も、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から、私たちを引き離すことはできません。

今月の賛美

1 父の神の^{しんじつ}真実は

とこしえまで変わらず

^{いづく}慈しみと^{あわ}憐れみは

つきることありません

2 春も秋も^{なつふゆ}夏冬も

^{そら}空の星も太陽も

声を合わせ語り合う

父の愛の備えを

(くりかえし)

素晴らしい主 その^{しんじつ}真実は

朝ごとに新しく

深い恵み知らされて

讚美します主の^{みな}御名

3 罪を^{ゆる}赦し平安を

主は与えて^{はげ}励まし

力に満ち祝福に

あふれさせてくださる

使徒信条

キリスト教会の最古の信条で、普遍的に受け入れられ、告白される信条の一つです。

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、
三日目に死人の内よりよみがえり、
天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。
かしこよりきたりて生ける者と死にたる者とを審きたまわん。
我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、
聖徒の交わり、罪のゆるし、
からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。
アーメン

主の祈り

主の祈りは、イエス様が「こう祈りなさい」と教えてくださった祈りです。ですから、「主の祈り（しゅのいのり）」と呼ばれています。翻訳によって言葉づかいは異なりますが、新約聖書マタイによる福音書6章9節～13節に書いてあります。

天にまします われらの父よ
願わくは御名をあげさせたまえ
御国をきたらせたまえ みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ われらの日用の糧を
今日も与えたまえ われらに罪をおかすものを
われらがゆるすごとく われらの罪をもゆるしたまえ
われらを試みにあわせず 悪より救いいたしたまえ
国と力と栄えとは 限りなくなんじのものなればなり
アーメン

メッセージ要約

★先週の内容をざっと振り返ります。

「見えない望みの祝福」

- 1、見えない望み（キリスト）に従って与えられた苦難は希望へと変えられる。
- 2、私が罪を主に告白し赦しを受け変えられれば、隣人も祝され、被造物も祝福される。
- 3、目に見えないからこそ求め続けられる望み。

このようなポイントで学びました。

「まだ見ていないものを望んでいるのだからこそ、忍耐をして待ち望みます。」という言葉で先週締めくくられました。

●忍耐力はどこから来るのか？

これは年が若ければ若いほど難しさを覚えることが多いと思います。ではなぜ？ 忍耐できる人と、忍耐できない人の差が大きいのでしょうか？

苦しいことを乗り越えられる人は何が違うのでしょうか？

これは過去にどれだけ苦難の中にあっても大切にされた愛されたという体験があるかということ。また、苦難を経験したのちに、成功した体験があるのかに大きな違いがあるのです。要するに今よく叫ばれている幼い時にたっぷり愛されたか？ということと、忍耐後の成功体験があるかどうか？に大きな差があるのです。今よく言われる「成功体験」です。

この小さな成功体験を味わうためには、何よりも神様の愛の中（御言葉の中）にとどまることがまず大切なのです。そして御言葉から示された小さなことに忠実に歩み、小さな罪を素直に悔い改め、赦される体験が大切です。このような小さな積み重ねが私たちの霊的成長にとっても大切なのです。その結果、神様は決して見捨てられていないことをじっくり味わって成長させられるのです。信じることからスタートし、キリストの愛を味わうことによって、私たちは、神様に「弱い私たちを言いやうもない深いうめきで祈られていること」を実感し体験し成長していくのです。

1、熱心に神様を求め待ち望む者は孤独ではない。

小さなことでも熱心に神に求める者は、決して孤独にはならないのです。神様に求めゆだねなければ私たちは、小さなことをも失敗してしまうのです。そして、孤独へと追いやられるのです。

神様は熱心に求め忍耐する者を孤独にはされません。

それが、今日の御言葉の26節に記されています。「同じように御霊も、弱い私たちを助けてくださいます。」です。私たちが心の叫びを忍耐しうめき祈るように、御霊ご自身が「ことばにならないうめきをもって、とりなしてください」のです。これは、その意味するところは、言語では、「霊の奥深くから湧き上がる切望や熱望」を含んでいるのです。そんな熱い思いで、神様に私たちは祈られているのです。

ただ私たちは、その神様の熱い心の思いは言葉にならないうめきであり見えないものであるからこそ、信じることができていることが多いのです。

この熱心な神様の祈りを信じることができれば私たちは本当の強さを得ることができるのです。

2、本当に恐れなければならない方は？義と認めてくださる方は誰か？

皆さんにとって、おそれて何でしょうか？お金が無くなる事でしょうか？人から愛されなくなることでしょうか？健康が失われることでしょうか？ これらもちろん恐れずにいることは難しいことです。しかし、それら以上に第一に恐れなければならないことは、このすべてを創造し、生かすことも、滅ぼすこともお出来になる創造主である神様から目をそらさず恐れを持つことなのです。

私たち、本当にしっかり恐れをもって第一にしなければならない神を第一として、目の前に恐ればかりに目を向けず見えないものに希望をもって、心落ち着かせ、目の前の苦難を乗り越えていく知恵を神様からいただく者でありたいです。

マタイ6章33節「まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべて、それに加えて与えられます。」日々何を第一とすべきか考え求める者でありたいです。

3、苦難の中でもキリストの愛によって勝利者となれる

苦難の中でも勝利者になれる秘訣は、その苦難を共に寄り添い応援して下さる方がおられる時ではないでしょうか？ その苦難を共に味わってくださる方がおられる時ではないでしょうか？ それは、人にはできないことです。私たちの苦難を一番に理解し寄り添ってくださる方はイエス様しかいないのです。このイエス様の命がけの「愛」によって私たちは、自分自身の罪（欲望）に勝利し「圧倒的な勝利者」となることができます。「苦しみがすべてなくなる事」「危険がすべてなくなる事」が勝利者ではないのです。そのような中でも乗り越える力が神様から与えられたものこそが本当の勝利者なのです。

●まとめ「神が私たちの味方」

1、御霊が言葉にならないうめきをもってとりなし祈って下さっている。

2、神のご計画にゆだねた者はすべて益となる。

3、キリストの十字架の愛によってどんな苦しみにも勝利することができる

神の前に罪を認めゆだねた私たちには、苦しみを勝利する力が与えられる。倒れることもおれることもないのです。自分一人で恐れを抱えてもがくのではなく、神にゆだねて、清く正しく歩む者でありたいです。

報 告

☆聖書を学びたい方、洗礼を希望される方はお気軽に牧師にご相談ください。

☆体調不良の方は、礼拝出席を無理せず zoom にて礼拝を中継いたしますのでご利用ください。また、礼拝堂に入られる時には、手の消毒をよろしくお願いいたします。

★6月以降の予定

礼拝は賛美の番数を減らすスタイルで2週目まで行う予定です。

昼食は6月中お休みいたします。zoomでの礼拝中継はしばらく継続する予定です。

★礼拝以外の集会予定

- ・祈り会は6月より再開いたします。・赤毛のアンに関しては9月から再開予定です。
- ・こひつじタイムは第二週目以降の再開を目標にいたします。自粛解除後、感染第二波の様子を見て再開日を検討いたします。

☆礼拝中の席は、お隣と空間を空け、ゆとりをもってお座りください。

5月の誕生日

10日 若村めぐみ姉 14日 本多こずえ姉

☆若村和仁師 今週の外部奉仕&予定

- ・6月2日～5日（火～金） NPO 法人あまやどり奉仕 （場所：高麗聖書教会）
- ・6月4日（木） hi-b.a. 所沢オンライン集会 （場所：オンラインにて）
- ・6月5日（金） hi-b.a. 川越オンライン集会 （場所：オンラインにて）

本日午後の予定

☆礼拝後の昼食会はコロナ問題が落ち着くまでお休みいたします。

次週（6月7日〈日〉）

司 会：本多崇兄 聖餐式司式：若村和仁師

聖 書：□-マ9章14節～24節

説 教：「土の器を大いに用いる主」若村和仁師

奏 楽：本多こずえ姉

讃 美：「土の器」 今月の賛美「天国にあるもの」

聖歌392、聖歌410、聖歌588、福音賛美歌259、聖歌383

受 付：勝山幸子姉 献金感謝祈祷：関久美子姉

先週の各集会出席者数

		子供	男性	女性	合計
5月24日(日)	教会学校ハレルヤキッズ	4人			4人
	礼 拝	3人	7人	11人	21人
		(礼拝はオンライン参加者9名を含む)			
	夕 礼 拝		お休みでした。		
5月27日(水)	祈 り 会		お休みでした。		

集会案内

6月3日(水)	祈 り 会	10:30～12:00
6月7日(日)	ハレルヤキッズ	9:30～10:15
	礼 拝	10:30～12:00

頌 栄

聖歌383

「ちち・みこ・みたまの」

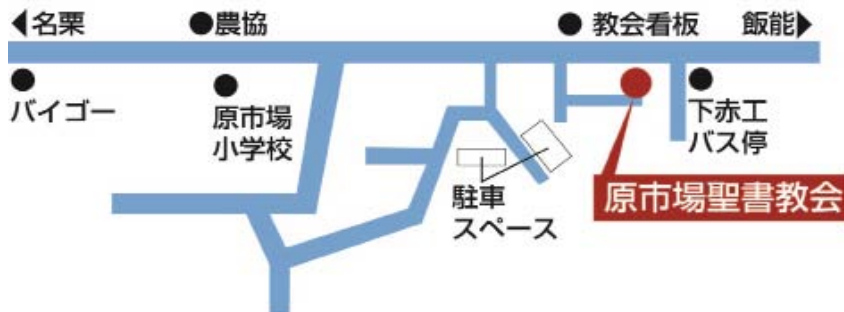
To Father, Son, and Holy Ghost
Tate and Brady, c. 1700 (UN)

ORTONVILLE
THOMAS HASTINGS, 1837

♩ やややく ♩ = 104

ちち・みこ・みたまのおおみかみにーとこしえか

わらずみさかえあれーみさかえあれーアメン



埼玉県飯能市下赤工 396-6 tel:042-977-0254
<http://hbc.holy.jp/>

教会ホームページ <http://hbc.holy.jp/> Eメール hibawaka@aol.com

■ 集会案内 ■

主日礼拝	日曜あさ	10:30-12:00
ハレルヤキッス	日曜あさ	9:30-10:10
夕拝(第一は休み)	日曜夕方	17:00-18:00
祈り会	水曜	10:30-12:00
赤毛のソ	第2第4火曜日	10:00-13:00
こひつじタイム	第1第3火曜日	10:30-12:00
ハレルヤキッススペシャル	ひと月一回(日曜か土曜日)	14:00-16:00



原市場聖書教会

〒357-0126 飯能市下赤工 396-6

TEL:042-977-0254

FAX:042-980-6442

牧師:若村和仁